

～家族のきずなを深め、地域で「家庭」を支える県民ぐるみの運動～

「ひょうご家庭応援県民運動」だより 創刊号

地域全体で多世代が交じり合い、共に支え合う「地域三世同居」の実現をめざし、兵庫県内の地域団体・NPOや企業等、625団体が取り組む「ひょうご家庭応援県民運動」における最新情報を共有するため、このたび『ひょうご家庭応援県民運動だより』を創刊しました。それぞれの活動紹介などを順次、掲載していきますので、情報をどしどしお寄せください。県民ぐるみの運動として、多様な取組を進めてまいりましょう。

「家族の日」運動の推進



第1回「家族の日」写真コンクール
知事賞受賞作品「家族揃って」

「家族の日」キャンペーンの実施

企業・店舗・団体等が提供する家族向けの特典・割引などの「家庭応援プラン」を紹介しています。現在23件のプランが登録されており、順次、応募を受け付けています。家庭応援プランの詳細は兵庫県ホームページをご覧ください。
(http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000337.html#h01)

第1回「家族の日」写真コンクールの開催

「わが家の家族だらん」をテーマに作品を募集したところ、371点の応募があり、審査の結果、兵庫県知事賞ほか33点の受賞作が選考されました。今回の入賞作品を活用してカレンダー入りのポスターを作成、配布しますので、各家庭の家族の日を記入するなどして活用してください。

「ひょうご家庭応援県民大会」の開催

11月16日(日) 約400人の参加のもと、兵庫県公館において、内閣府、兵庫県等の共催により、「ひょうご家庭応援県民大会」を開催しました。

「仕事と生活のバランスを進めるための家族と地域の役割」をテーマに、基調講演やパネルディスカッション、「ひょうご親学び応援事業」の取組事例の発表などを行いました。(詳細は裏面)



ひょうごおやしネットワーク立ち上げ宣言

「親の学び」の応援 ～ひょうご親学び応援事業～

親自らが親として成長するための学びを応援するため、研修会などを実施する際に講師などを紹介しています。気軽にご活用ください。

9月11日(木) この取組の一つとして、県PTA協議会主催により「青少年のネット・ケイタイ」をテーマに、県インターネット安心安全利用推進協議会の三好成明会長を講師に迎え、「親学び研修会」が県民会館で開催されました。

この研修は、保護者の関心が高い子どもたちのインターネット・携帯利用についての講師紹介の依頼を受け、開催に至りました。



親学び研修会

「家族で健康づくり」キャンペーンの展開

家族そろって健康相談や子育て、介護などの相談をして、家族で健康を考えるきっかけを提供しています。その取組の一つとして、兵庫県看護協会では、こころや体の悩みについて気軽に相談できる「まちの保健室」を県下各地で実施しています。

詳細については、兵庫県看護協会(TEL 078-341-0255)までお問い合わせください。



まちの保健室

作成・発行：ひょうご家庭応援ネットワーク会議(こころ豊かな美しい兵庫推進会議・家庭応援団)
http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000275.html

問い合わせ先：ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局(兵庫県企画県民部県民文化局男女家庭室家庭施策係)
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-362-3169 FAX 078-362-3957

E-mail danjoseishonen@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご家庭応援県民大会レポート

ひょうご家庭応援ネットワーク会議（こころ豊かな美しい兵庫推進会議・家庭応援団）と内閣府、兵庫県等の共催のもと、兵庫県公館にて開催した「ひょうご家庭応援県民大会」の結果について、以下のとおり紹介します。



開会あいさつ
冒頭、井戸知事がそれぞれの家族が「家族の日」を設けて共通体験を持つことの大切さを呼びかけました。



「ひょうごおやじネットワーク」立ち上げ宣言
井戸知事をはじめとする14名の呼びかけ人が、父親の子育てや地域活動等への参画とネットワークづくりを応援する同ネットワークへの参加を呼びかけました。



基調講演
竹花豊・「おやじ日本」会長が「これから子どもたちが生きる時代を考え、大人が足並みをそろえて真剣にメッセージを伝えることが大事。子どもたちと未来を創る活動に取り組もう」と訴えました。

「ひょうごおやじネットワーク」宣言

近年、家庭と地域の力が低下し、特に父親の子育てや地域活動等への参加の重要性が指摘される一方で、父親自身が子どもとの関わりなどを求めるとともに、学校や地域等に対する関心も高まりつつあります。

そこで、地域全体で共に支え合う『地域三世代同居』の実現をめざす「ひょうご家庭応援県民運動」の一層の発展を図るためにも、父親の子育てや地域活動等への参画とネットワークづくりをさらに応援していくことが大切ではないでしょうか。

今こそ、おやじの出番です。

父親たち、その父親である祖父世代、さらには、未来の父親となる若者世代、世代を超えた私たちおやじが力を合わせて、次世代を担う子どもたちのために何が出来るかを共に考え、行動することを提案し、活動への賛同、参画を呼びかけるものです。

平成20年11月16日

呼びかけ人

- 井戸 敏三（兵庫県知事）
- 釜谷 研造（兵庫県議会議長）
- 野尻 武敏（ひょうご家庭応援ネットワーク会議代表）
- 山田 知（兵庫県市長会会長）
- 足立 理秋（兵庫県町村会会長）
- 小林 公正（兵庫県保育協会会長）
- 川田 長嗣（兵庫県私立幼稚園協会理事長）
- 岡部喜久男（兵庫県PTA協議会会長）
- 小林 勝弘（兵庫県子ども会連合会理事長）
- 中尾 信也（神戸青年会議所理事長）
- 黒田 賢治（「網干おやじ塾」〔姫路市〕）
- 赤壁 輝彰（「おやじーズ」〔明石市〕）
- 濱田 国彦（「浜友会」〔加古川市〕）
- 小崎 恭弘（神戸常盤大学短期大学部准教授）



パネルディスカッション
こころ豊かな美しい兵庫推進会議会長の野尻武敏会長をコーディネーターに、「仕事と生活のバランスを進めるための家族と地域の役割」について意見が交わされました。



「ひょうご親学び応援事業」事例発表
兵庫県看護協会的小田美紀子常務理事と神戸親和女子大学の横山ひろみ教授から「ひょうご親学び応援事業」の取組事例の発表がありました。



野尻会長は、「子育ては社会的な大事業である。それだけに、家庭応援、地域三世代同居は今後ますます必要とされていく。一緒にこれから頑張っていきましょう」と締めくくりました。



「家族の日」キャンペーン協賛企業・店舗・団体等として登録されている事業者が家族向けの特典・割引等を提案する「家庭応援プラン」を紹介しました。



会場内には第1回「家族の日」写真コンクール応募者全員の作品各1点を展示し、心温まるたくさんの家族写真に会場内は和やかな雰囲気になりました。



「子ども茶道体験教室」を和風会議室にて同時開催し、小学生約20人が参加しました。

～家族のきずなを深め、地域で「家庭」を支える県民ぐるみの運動～

「ひょうご家庭応援県民運動」だより VOL. 2

兵庫県内の地域団体・NPO や企業等、625 団体が取り組む「ひょうご家庭応援県民運動」における活動の最新情報をお届けします。それぞれの活動紹介などを順次、掲載していきますので、情報をどしどしお寄せください。

「ひょうごおやじネットワーク」の活動支援

ホームページを開設。現在、会員募集中！

昨年11月16日「ひょうご家庭応援県民大会」において立ち上げ宣言を行った「ひょうごおやじネットワーク」では、このたびホームページを開設しました。

ホームページでは、「父親・おやじの会」等の各団体がホームページの共同編集者として、イベントや活動などの取組を情報発信できるほか、会員専用のサイトでは会員同士での情報交換など、双方向のコミュニケーションをとることができます。

現在、当ネットワークへの参加を希望する「父親・おやじの会」等の活動を行っている団体・グループや個人の会員を募集しています。

詳しくはホームページ (<http://www.hyogo-oyaji.net/>) をご覧ください。

「兵庫おやじサミット」の開催（6月頃開催予定）

県内の「父親・おやじの会」等の情報交換や交流の場とするため、6月頃に「兵庫おやじサミット」を開催します。このサミットでは、講師による講演や、それぞれの「父親・おやじの会」等の活動や地域との交流活動の事例発表などを予定しています。詳細は追ってお知らせしますのでご期待ください。



「ひょうごおやじネットワーク」
ホームページ

「ひょうご家庭応援プログラム2009」の作成

県では、県の多様な家庭応援施策を分かりやすく整理した「ひょうご家庭応援プログラム2009」を作成しました。

このプログラムでは、家族で参加できるプログラムや活動支援メニュー、こんな時どうすればという相談窓口の紹介など、3つの柱と9つのアクションに整理されており、必要な情報を簡単に探すことができるようになっています。

また、今回のプログラムには、事業に参加した県民の感想が写真とともに掲載されるなど、さらに分かりやすく、利用しやすくなっています。

プログラムは、兵庫県のホームページ (<http://web.pref.hyogo.lg.jp/>) からダウンロードできます。ぜひご利用ください。



「ひょうご家庭応援プログラム2009」



親学び研修会

「ひょうご親学び応援事業」の展開

2月7日(土)「ひょうご親学び応援事業」の一つとして、NPO法人ア・ク・イラ主催により子育て支援の文化セミナーが姫路市内で開催され、兵庫県理事の清原桂子氏を講師に迎え、「学ぶ態度を学ぶ」と題して子育て支援の現状と今後のあり方などについての講演や、子どもたちの体験発表、両親の意見交換などが行われました。

この研修会は、日本の伝統文化に由来する「心の遺産」をどうしたら次世代に伝えられるかを視点に、保護者の家庭教育の大切さを改めて考え直すことを目的として開催されたものです。

なお、県では親学び学習会などの企画に役立つよう、学習プログラムを現在作成中です。近々発表されますので、ぜひご利用ください。

作成・発行：ひょうご家庭応援ネットワーク会議（こころ豊かな美しい兵庫推進会議・家庭応援団）
http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000275.html

問い合わせ先：ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局（兵庫県企画県民部県民文化局男女家庭室家庭施策係）
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-362-3169 FAX 078-362-3957
E-mail sei.shonen@pref.hyogo.lg.jp

～家族のきずなを深め、地域で「家庭」を支える県民ぐるみの運動～

「ひょうご家庭応援県民運動」だより VOL. 3

兵庫県内の地域団体・NPOや企業等、625団体が取り組む「ひょうご家庭応援県民運動」における活動の最新情報をお届けします。それぞれの活動紹介などを順次、掲載していきますので、情報をどしどしお寄せください。

ひょうごおやしサミットを開催（6月14日）

おやじたちの井戸端会議

“地域の親”としての力を高め、父親の子育てや地域活動等への参画について考える「ひょうごおやしサミット」が6月14日（日）兵庫県公館において開催されました。まず、「父親ってなに？最近の父親ブームの傾向と対策」と題した神戸常盤大学短期大学部准教授 小崎恭弘氏による講演では、男性の育児への関心の高まりや、子育て・家庭支援に取り組む企業に優秀な人材が集まっていることなどの最近の傾向のほか、「父親ブーム」が到来していることを強調されました。引き続き、おやしグループなどの代表7人がパネルディスカッションやリレートークを行い、「父親・おやじの会」等の活動を継続する秘訣のほか、父親が子育てや地域活動を始めるきっかけづくり、活動の魅力などについて意見交換を行い、おやしネットワークへの参画を呼びかけました。

サミットの詳細は、「ひょうごおやしネットワーク」ホームページをご覧ください。
<http://www.hyogo-oyaji.net/>

「ひょうごおやしネットワーク」会員募集中!!

世代を超えたおやじたちが力を合わせて、次世代を担う子どもたちのために、共に考え、行動しませんか？「父親・おやじの会」等の活動を行っている団体や趣旨に賛同される県内在住・在勤の方はどなたでも会員になれます。

「わくわく親ひろば」を開催しませんか？

子育てを楽しみながら、親としての自信をつけたり、わが子の親としてだけでなく、地域の親としての力をつける機会を提供するのが、『わくわく親ひろば』です。親子や三世代で一緒に遊んだり、学べる「親学習プログラム」等を活用して、地域で家庭で職場で、ともに取り組んでみませんか？

詳しくは、兵庫県男女家庭室または各県民局までお問い合わせください。

第2回「家族の日」写真コンクール作品募集

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の一環として、「わが家の記念日」をテーマにした写真を募集します。9月30日（水）までに所定の応募票を作品の裏に貼付し、下記「ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局（兵庫県男女家庭室）」へ郵送してください。兵庫県知事賞ほか入賞者3名及び入選者10名には、多彩な副賞を用意します。詳しくは、兵庫県ホームページをご覧ください。
http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000432.html



第1回「家族の日」写真コンクール 知事賞受賞作品『家族揃って』

「わが家のルール」づくり作品募集

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動を普及啓発するため、それぞれの家族で話し合って決めた各家庭のルールを募集します。各家庭のルールとその実践事例（エピソード）を添えて9月30日（水）までにホームページまたはFAX、郵送でご応募ください。兵庫県知事賞ほか入賞者3名及び入選者10名には、多彩な副賞を用意します。詳しくは、兵庫県ホームページをご覧ください。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000431.html

作成・発行：ひょうご家庭応援ネットワーク会議（こころ豊かな美しい兵庫推進会議・家庭応援団）

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000275.html

問い合わせ先：ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局（兵庫県企画県民部県民文化局男女家庭室家庭施策係）

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-362-3169 FAX 078-362-3957

E-mail seishonen@pref.hyogo.lg.jp

～家族のきずなを深め、地域で「家庭」を支える県民ぐるみの運動～

「ひょうご家庭応援県民運動」だより VOL. 4

兵庫県内の地域団体・NPOや企業等、625団体が取り組む「ひょうご家庭応援県民運動」における活動の最新情報をお届けします。それぞれの活動紹介などを順次、掲載していきますので、情報をどしどしお寄せください。

「ひょうご家庭応援県民大会」の開催

11月8日(日)ラッセホールにおいて「ひょうご家庭応援県民大会」(参加者数：315人)を開催しましたのでご紹介します。



開会あいさつ

五百蔵副知事から、「皆さんが先頭に立って温かい家庭、地域があふれる兵庫づくりを」と「ひょうご家庭応援県民運動」への参画を呼びかけました。



基調講演

わらべうたサークルの井上美鈴代表から、わらべうたの解説や実践を交えて、「頭より心を育てることが大切。心が育っていないと知識が入ってこない」など、わらべうたを通じた子育てを提案されました。



「わくわく親ひろば」実践事例発表

「わくわく親ひろば」とは、親、祖父母世代自らが成長するための学びや、親子、三世代が共に学ぶ学習会です。「わくわく親ひろば」の実践事例として、楽しい科学実験や身近な材料でのおもちゃ作りを通じて、楽しい親子のコミュニケーションを図る取り組みや親子で取り組む防犯教室などの報告を行い、各団体やグループでの開催や親学習プログラムの活用を呼びかけました。



第2回「家族の日」写真コンクールと「わが家のルール」の表彰式も行われ、各部門の受賞者に表彰状・副賞が贈呈されました。また、表彰式の後、知事賞を受賞された方々からの心温まるエピソードや実践事例の発表が行われたほか、受賞全作品が会場内に展示され、会場内は和やかな雰囲気になりました。(第2回「家族の日」写真コンクール及び「わが家のルール」の受賞作品は、裏面をご覧ください。)

第2回「家族の日」写真コンクールの開催

「家族の日」運動の一環として、昨年に引き続き「家族の日」写真コンクールを開催しました。今年は「わが家の記念日」をテーマに作品を募集したところ、243点の応募があり、審査の結果、兵庫県知事賞のほか33点の受賞作品が選考されました。

今後、入賞作品を活用し、カレンダー入りの「家族の日」ポスターを作成・配布する予定ですので、各家庭の家族の日を記入するなどご活用ください。なお、詳しくは、兵庫県ホームページをご覧ください。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000337.html



兵庫県知事賞受賞作品「ぼくの祝辞」



兵庫県議会議長賞受賞作品
「ファミリー」



兵庫県写真作家協会賞受賞作品
「初めての骨折での手伝い」



こころ豊かな美しい兵庫推進会議
会長賞受賞作品「しゃぼん玉」

「わが家のルール」作品募集

「家族の日」運動を普及啓発するため、それぞれの家族で話し合っただめた各家庭のルールとその実践事例(エピソード)募集しました。130点の応募があり、審査の結果、兵庫県知事賞のほか23点の受賞作品が選考されました。なお、詳しくは、兵庫県ホームページをご覧ください。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000337.html

兵庫県知事賞 受賞作品

【ルール】家ぞくみんな同じへやでねよう

【実践事例】別々にねるよりも、一つの部屋でねたほうが、電気代もかからないし、「エコ」になると思います。父ちゃんが、ゴロゴロころがってきたり、イビキが少しイヤだけど、大すきな父ちゃんといっしょにねれるから、うれしいです。冬はみんなでねたほうが、ぜったいあたたかいです。

兵庫県議会議長賞 受賞作品

【ルール】お手伝いしたお小遣いから文房具を買う

神戸新聞社賞 受賞作品

【ルール】兄弟は仲良くをモットーに手作り新聞でファミリーをつなぐ

こころ豊かな美しい兵庫推進会議会長賞 受賞作品

【ルール】「ひとり家族のために、家族はひとりのために」を合言葉に



『神戸新聞社賞受賞』
手作り新聞

23年間続いている各家庭の出来事を記事にした手作り新聞

作成・発行：ひょうご家庭応援ネットワーク会議（こころ豊かな美しい兵庫推進会議・家庭応援団）

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000275.html

問い合わせ先：ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局（兵庫県企画県民部県民文化局男女家庭室家庭施策係）

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-362-3169 FAX 078-362-3957

E-mail seishonen@pref.hyogo.lg.jp

～家族のきずなを深め、地域で「家庭」を支える県民ぐるみの運動～

「ひょうご家庭応援県民運動」だより VOL. 5

兵庫県内の地域団体・NPOや企業等、630団体が取り組む「ひょうご家庭応援県民運動」における活動の最新情報をお届けします。それぞれの活動紹介などを順次、掲載していきますので、情報をどしどしお寄せください。

「わくわく親ひろば」フォーラムの開催

3月5日（金）兵庫県民会館において、「わくわく親ひろば」の推進を図るフォーラムを開催しましたのでご紹介します。（参加者数：220人）

**「親ひろばサポーター」
委嘱状交付式**

「わくわく親ひろば」の普及啓発を図るため、地域団体や子育て支援を行っている団体などに所属している102人を「親ひろばサポーター」として登録し、委嘱状を交付しました。

**基調講演**

神戸松蔭女子学院大学の勝木洋子教授から、国の政策など子育て支援の流れ等を説明したうえで、「自分らしさを大事にして、どの子も一番という意識を持つことが大切」と呼びかけられました。

**パネルディスカッション**

親ひろばで講師を務めている団体の代表4名から「子どもの学習だけでなく親が育っていく場にしたい」「子育ては時間をかけて待つことの大切さを伝えている」など、活動にかける思いが発表されました。

「わくわく親ひろば」実践事例集をホームページで発信

様々な団体やグループ等による「わくわく親ひろば」の自主実践の取り組みを広く紹介し、全県の協働の具体的な取り組みを発信するため、「わくわく親ひろば」実践事例集と「わくわく親ひろば」ホームページを作成しました。実践事例集は、ひょうご親子応援プログラムと併せてダウンロードできるように、ホームページに掲載していますので、ぜひご利用ください。

<http://sites.google.com/a/pref.hyogo.lg.jp/oyahiroba/>

「わくわく親ひろば」の取り組みが広がっています**みんなあつま～れ！**

平成21年10月4日、朝来市さんとう緑風ホールにて、親子三世代300名が集まり、5つのコーナーに分かれ、ものづくりや運動などを行い、楽しい1日を過ごしました。「一緒に合唱したり、自分の孫以外の子どもとも話したり、遊んだりしてとても楽しかったです」と、地域の三世代の交流が図れました。

**三世代ふれあいスナッグゴルフ大会**

平成21年11月8日、西宮浜総合公園にて、親子三世代約100名が集まり、スナッグゴルフの使い方やルールを学び、ペア対抗戦を行いました。穏やかな日曜日の午後、おとな子どもも一緒に身体を動かして遊びました。「他の家族との交流が持て、また手軽なスポーツを通じて、子どもとのふれあいを楽しむことができた」と、参加者からも好評でした。



作成・発行：ひょうご家庭応援ネットワーク会議（こころ豊かな美しい兵庫推進会議・家庭応援団）

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000275.html

問い合わせ先：ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局（兵庫県企画県民部県民文化局男女家庭室家庭施策係）

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-362-3169 FAX 078-362-3957

E-mail danjokatei@pref.hyogo.lg.jp